

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 HSK 文福ちゃん編集部

HSK NPO 法人 「文福」 ニュース \*\*\*\*



\*\*\*\*\* NO.220

## 第 2 次緊急声明

### 「障害者は殺されても差別されるか『ばきやろう』」

NPO 法人文福理事長 八木勝自

昨年の神奈川県相模原市の重度障害者施設の「やまゆり園」で障害者が 19 名刺殺され、重軽傷者合わせると 26 名の人々が被害を受けた殺傷事件を受けて、神奈川県や相模原市のその施設「やまゆり園」やその遺族会の主催で合同葬儀があるその大きな祭壇には殺害された被害者の位牌や遺影も一切なかったということが各新聞で報道されました。私はその新聞記事を見て一人の障害者としては、言いようのない怒りがふつふつと沸き、1 人の人間としては、言いようのない悲しさを覚えました。

何故殺害された 19 名の位牌や遺影がなかったかというと、殺害された家族や遺族がいじめや差別されるからだそうです。

でもちょっと待って下さい。これではこの殺傷事件を起こした犯人であるその元施設職員の植松被告の殺害理由である「障害者なんてうまれてこない方が良い」「障害者は回りに不幸を撒く」とか「障害者なんて生きてる価値がない」とか、という

に意識的・無意識的に植松被告の論理や理由を植え付けるものであり、植松被告より罪深いことを行ったと私は思うのです。

19名の殺害された人々には1人1人の人生や育ちがあり、1人1人の位牌や遺影を出さなかったという事は、1人1人の障害者を無視してその存在を否定したりして、人としてやってはいけないことなのです。確かに1人1人の位牌を出すといじめや差別に合うかもしれませんが、それは遺族や親族を差別やいじめをした方が悪いのであり、1人1人の殺傷された障害者にはなんの罪もないことなのです。

ある富山市内の身体障害者団体役員の人も「家族もこんな合同葬儀に家族や社会の一員として怒らないとダメだ」と言っていました。

こんな合同葬儀をどうしてこんなことをしたのでしょうか。この合同葬儀は障害者差別を意識的・無意識に根づかせたり、拡大して障害者の1人1人の存在を全く無視するモノであり、私は「なんでこんなことをしたのか、ばきゃろう」と叫びたくなるのです。

またこれは拡大した論理だと受け取られるかもしれませんが、この合同葬儀は障害者施設とはある一面で地域で障害者が生きるとは問題やトラブルを起こさないためだということをある面で証明したり、植えつけていることであり、そういった意味でもこの合同葬儀は誤解と偏見を人々に植え付けたりする「ばきゃろう」です。

そして重度障害者の存在や寝たきりで意思疎通がないと思われている障害者のことを同じ時代に生きている人間として認められるのは自分本意ではなく、1つの社会ではなくていろいろな世界や価値観を苦労して知っている人で良い大人を見上げて「人間てなんてちっぽけな存在なんだろう」と思える人であり、元東京都知事の石原慎太郎が重度障害者を見て「この人たちに生きている価値はあるのだろうか」と言ったり、植松被告のような自分本意のような1つの社会や色々な価値のある社会を体験や経験をしていない人は重度障害者や寝たきりで意思疎通できない障害者のことを1人の人間として認められないのです。



## 相模原障害者殺傷事件から 1 年

久保ゆかり

2016年7月26日、神奈川県津久井やまゆり園で、園に入所している障害者45名（死者19名）が、園で数か月前まで働いていた福祉職員によって殺傷された事件から1年が過ぎた。

同業者の立場として私が知りたいのは2つある。一つは被告が言っている「意思疎通できない人」とはどういう人を言っているのか、ということと、もう一つは、被告の「衆議院議長宛ての手紙」に「職員は絶対傷つけず」と書いている意味についてでした。

京都のシンポジウムで、この事件を熱心に取材した神奈川新聞の記者の、殺された入所者の一人一人がどのような個性を持った人だったかを掲載した記事が資料として配られ、読んだ。なぜ、この人たちを意思疎通できない人と容疑者は断じたのか、分からなかった。事件から1年を前に、被告からいくつかのマスコミに手紙が数通届いたというその手紙に、「意思疎通できない人」とは「正確に自己紹介できない人」と書いているという。まるで就職の面接官のような線引きの仕方だなあ、と感じた。意思疎通もお互いを理解し合うという言葉本来の意味よりもできるできないという本人の機能・能力による振り分けに使われている。

「職員は絶対傷つけず」ということを国に向かって言っているということは、働ける有用な人材を損なうことはしませんよ、と言っているのだろうか。殺

してよい人と殺してはいけない人に分け、自分は決して殺したら行けない人を殺すわけではない。殺してよい人は人間ではないが、殺してはいけない人は人間だから負傷させることもダメということは自分は分かっている、国が実施したくてできないでいる安楽死を実践する正義の行為だから国は認めてほしいというところなのか。

私は、この事件を振り返るにあたって何度も被告が書いた「衆議院議長宛ての手紙」を読み返している内に気持ちが悪くなってしまったが、この手紙の中には、意思疎通できない人間という言葉がないことに気付いた。警察に自首したときに本人が言ったこととして報道されていた。殺人事件は起こしたが、殺したのは人間ではないと言いたかったのだろうか。戦争はいつだって正義の名のもとに行われ、自己を正当化し被害が膨大化する。

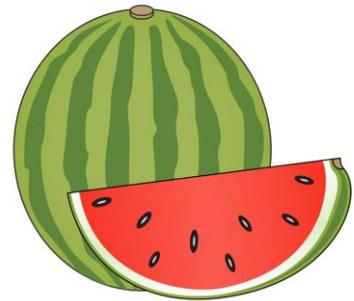
被告が正義とする社会が戦争を回避し、平和な社会を実現するとは到底思えないが、そう考える人が少なからずいるという現実と、向き合って対話していかなければならないのだろう。

## 冒頭の一言

(6)

今年の夏は、暑さがどうかというよりも雨や洪水が大変でした。これから過ごしやすくなって色んなところに出かけやすくなると良いですね。期待しましょう。普段は車を使うことが多いという人も、バスや電車をどんどん使って出かけましょう。言わせる人に言わせれば、富山は鉄道王国だそうですから。(えっ?ホント?) 真偽のほどは皆さん、乗って確かめてみて下さい。

そして「私ら障害者、お客さんだぞ!!」と胸を張って利用しましょう。そしたら、Penko さんのような体験ができるかもしれません。



### — もくじ —

第2次緊急声明 … 1-3	相模原障害者殺傷事件から1年 … 4-5	冒頭の一言 … 6
Penko … 7-8	ぱんだのゆうべ報告 … 9	村上さん要望書 … 10
学習会のお知らせ … 11	運営会議報告 … 12	今後の予定 … 13
ありがとう+編集後記 … 14		



## Penko のおひとりさま 珍道中!! (part 3 1)

8月1日の夜、職場の女性数人と神通川まで花火を見に行きました。有沢橋に近いところで花火がよく見えて、音もすごくて「しだれやなぎ」「ハート型」「宝石のようにキラキラしたもの」など、とてもきれいでした。そんなに暑くもなくて過ごしやすかったなあと思います。

そして帰り道ですが、低床（階段なし）の市電に乗ろうと思って、「ショッピングセンターアリス」の近くに「富山トヨペット本社前」という電停があり、そこから乗ろうとしました。

ちょうどその日は花火大会のために発着時刻が増えていました。「富山地方鉄道」の社員の方々が人数整理のために数人おられて、聞いてみたら

「低床車両は大学前から出るのが1時間後で、手前の「安野屋」の電停まで折り返し運転しているからそこまで行ってみて」

と言われ、待てなかったので「富山大橋」を渡り、安野屋の電停に着きましたが、人がたくさんいて最後尾まで並び、順番がきて聞いてみたら

「しばらく来ない」

と言われてがっかりしていたところ、顔見知りの「富山地方鉄道」のえらい方が声をかけて下さり、「乗せてあげる。」と言い、社員の皆さん数人を集められ、階段つきの車両に初めて乗せても

らう事になりました。社員の方5～6人で電動車イスを持ち上げてもらい、空を飛んでいる気分になりました。えらい方も社員さんも富山駅まで一緒に車両に乗られ、ついていってもらいました。

車両の中は居心地よかったです、あまり涼しくなかったかな。富山駅電停でも数人待っておられ、降ろしてもらいました。

おかげで最終バスに間に合い、遅くならないうちに家に戻ることができました。

昨年も花火を見に行き、帰りは富山駅北口まで電動車いすで行きましたが、ライトレールに乗ってまた家まで 30 分間電動車いすで走行。その分帰り時間が遅かったので、次の日がとてもしんどかったことを覚えています。

今年の花火を見に行ったおかげで、普段できない貴重な経験をさせてもらいました。

頻繁に公共交通機関を利用することで、好きな時間に好きなところに行けて、交通会社に認知してもらえて、運転手さんや他の乗客の方々とのバリアーが少なくなるのではないかと考えています。

(でも本音は、小さいときから大人になるまで、自力であまり外に出してもらえなくて、その反動がきていて外に出たがりなだけなんです…)



昔から走っている階段つき車両です。

花火の帰りに乗りました。



毎日利用している低床（階段なし）車両「サントラム」です。



## 「ぱんだのゆうべ」報告

7月29日(土)にぱんだのゆうべ11回目を毎度の事ながら、「タージマ  
ホール富山本店」にて行いました。今回のゲストは中田千紘さん。ちっひー  
さんでした。オリジナル曲やカバー曲も織り交ぜながらの60分でした。

小矢部のテーマソングでは、ちょっとした替え歌にしてもらい、楽しく盛  
り上がったのではないかと思います。ちっひーさんの優しげで透き通る歌声  
は、なかなか心を和ませてもらえました。

今回は全部で10人ほどのお客さんに来ていただきました。これもちっひ  
ーさんのおかげ。ありがたいかぎりです。  
皆でリズムをとったり、一緒に歌ったり  
と、ゆったりしながらも楽しい一時だった  
のではないかと思います。

また今後もマイペースにですが、してい  
きたい企画の一つなので、お暇があれば、  
参加してもらえたならばと思う次第です。



## 障害者部会より

障害者部会員が地域生活をするにあたって、新たな進展がありましたので、ここに原文のまま掲載します。

富山市長  
森 雅志様

2017 年 7 月 20 日  
富山市婦中町田島 674 の 16  
村上 隆

### 要 望 書

「五福団地サッシ改修工事について」（富山市建設部 市営住宅課からの文書等送付表）を受けての要望

2017 年 5 月 29 日付要望書などに関して、富山市建設部 市営住宅課より、「五福団地サッシ改修工事について」の文書を受け取りました。

要望の聞き取り、現地での相談をふまえた丁寧な対応であり、「南側アルミサッシ改修について、市の責任・負担で改修を行い、明け渡しの場合の原状回復も求めない」との内容については要望を受け止めた前向きな提案であり、歓迎します。

また、カードロック設置、洗濯機の屋内設置については、基本的な改修工事として市の責任・負担での改修工事を重ねて要望します。

通常の鍵の使用は障害があり困難です。カードロックは日常生活上必要な改修です。

屋外の洗濯機の使用は、電動車いすでの移動は大変困難であり、屋内設置は基本的な要望です。

どちらも本人負担がないように、原状回復を求めるようなことがないようにされたい。

## 学習会からのDVD上映会のご案内

暑い夏から秋へと変わり行く時期ですね。本年度も、機会を設けて必ずやりたい企画が、この時期にやって参りました。そうです、DVD上映会なのです。

今回、上映する作品は、「母と暮らせば」という映画です。

今から72年前第二次世界大戦、太平洋戦争終結間際に広島と長崎に落とされた原爆によって、起こった一つの物語です。

長崎に住み、医科大生の一人息子を失った母、その母のもとに死んだはずの息子が亡霊となって帰って来るのです。そこから、親子の愛情や息子が歩んでいた人生がうかがえるのです。

この映画を通して、戦争があった為に多くの人々が犠牲になったことを伝えたかったのだと思っています。

私達は、戦争を知りませんが、いろんなことで学び負の歴史を忘れないようにしていきたいと思います。

美味しい珈琲と美味しいお菓子を片手に一緒に時間を過ごしませんか。是非とも多くの人に来て頂けるものと...楽しみに御待ちいたしております。

\*\*\*\*\*

### DVD上映会

上映名 母と暮らせば

<日時> 9月15日<金>午後19時～

<場所> 文福事務所にて 参加費 無料

\*\*\*\*\*

## 運営会議報告 2017. 7

### 【学習会】

9 月から 10 月の間にハンセン病回復者の玉城しげさんの一生をパワーポイントや紙芝居を使って行う予定です。

### 【障害者部会】

富山大学人間発達科学部の方が障害者の意見を聞きたいということで文福事務所で話し合いをしました。

秘密保護法の団体反対の団体署名要請がありました。

公共交通機関の割引について、各交通機関の実態を集める。

### 【派遣】

今年度ザカイジョ第一回目を行った。今後の課題として、ザカイジョの研修での、男性障害者サポーターを探す。

### 【レクリエーション】

8 月 19 日（土）環水公園にてサマーぱんだナイトです。

### 【障ちゃんニュース】

25 日発送。今後、総会の記念講演の文章を掲載予定。

### 【まっち】

8 月中の発行を目指す。

### 【その他】

ミニキャブ固定ベルトが故障の為修理。8 月の中旬に直る予定。

文福事務所のお盆休みは 8 月 14 日～16 日です。

7 月 27 日に富山市の障害福祉課の職員が事務所に来られて、来年度から始まる障害福祉計画の要望を聞きに来られます。

事務局、8 月は賞与があります。

次回運営会議は 8 月 22 日火曜日です。

報告者：吉田 彰



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお祈りいたします。

- ◎ 学習会 “こうべ、の社協による地域共生社会への取組みに学ぶ  
～神戸における地域に寄り添う相談支援～

日時と場所 9月9日〈土〉13:30～16:00

富山県総合福祉会館（サンシップとやま）703号室

講師 神戸市社会福祉協議会 地域福祉課長 森貞 拓郎氏

主催・お問い合わせ

自立生活支援センター富山

TEL (076) 491-3385 (田中)

FAX (076) 407-5557

Eメール info@cil-toyama.com

- ◎ あっぷっぷ<sup>カフェ</sup>Cafe

日時と場所 9月17日〈日〉富山市障害者福祉プラザ  
13:00～15:00 (富山会場)

11月19日〈日〉黒部市コミュニティセンター  
13:00～15:00 (黒部会場)

主宰 あっぷっぷの会 (障害児も普通学級へ・富山連絡会)

お問い合わせ [appuppu.cafe@gmail.com](mailto:appuppu.cafe@gmail.com) (メール)

富山会場 080-6350-7556 (川添)

黒部会場 080-3044-3557 (窪田)

- ◎ 文福からのお知らせ

9月19日(火)は事務所大掃除のため、文福食堂はお休みです。

